

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年8月16日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	新宮町	代表者名	新宮町長 長崎武利
担当者部署	政策経営課	連絡先電話番号	092-962-0230
担当者役職	主幹	担当者氏名	大賀純治
		連絡先E-mail	
住所	811-0192 福岡県新宮町緑ヶ浜1-1-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉本 明平
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	一般職員に向けて、わかりやすい言葉や実例を挙げて、具体的な説明をしていただいたことにより、受講者の理解が進んだ。また、職員の反応の応じて、講義内容を変更していただき、内容の充実を図ることができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年8月6日	10時00分	15時30分	150	180
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	92人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	自治体DXを推進するにあたり、職員意識を向上させることが難しいことが課題	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	全職員が自治体DXに対して肯定的な意識を持ち、自治体DX推進に向けて同じ方針の下、各施策に取り組むことを成果とする。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	オンラインで職員研修を行い、人口減少社会における自治体DXの必要性。また、ICTの進展に伴い柔軟なつながりの中で最適化がなされている事例などを挙げていただき、発想の転換が不可欠であり、一人一人の意識改革が必要であるとのメッセージを伝えていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	多くの職員が自治体DXの意味や情報システムの標準化の必要性について、一定の理解が進んだ。また、より自治体DXについて学びたいという意識が生じてきた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	自治体DXについては、受講者の98%が必要性を感じ、88%が事務の標準化・ガバメントクラウドの必要性を感じる事ができた(アンケート結果 8月11日時点)	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	内部組織の構築体制や人材育成方針についての考え方	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	自治体DXに関する取組全般については、多くの職員が必要性を感じており、約半数の職員が引き続き、自治体DXに関する研修を希望している。しかし、能動的な自治体DXへの取り組みに積極的な職員は少数であり、積極的な関与へ誘導できるような取り組みが必要と考えられる。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	自治体DX推進体制の構築と運用	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

